

見立て

身体の歪みの原因を、上肢・下肢・体幹の三択にする

【全身】



- ・首を回旋して左右差や硬さを確認する

- ・問題のある側を患者にも確認する

→ あくまでも可動域（ROM）を指標にするが、

痛みなどの患者の感覚も聞くことで、実際の可動

域との違いを認識してもらえ+信頼 UP

※この時点で問題なければ自律神経の見立てへ

【上肢】



- ・肩関節を関節性の OFF にして首を回旋する

- ・可動域に改善があれば上肢の歪み

- ・主訴に改善があるか確認する

【下肢】



- ・股関節を関節性の OFF にして首を回旋する

- ・可動域に改善があれば下肢の歪み

- ・主訴に改善があるか確認する

- ・上肢と下肢に変化がなければ体幹の歪み